

科目名	アドバンスレッスン 1							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	小野正利・野崎漱里・青木千春・平山雅月・ 早川咲・青野りえ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 自分の身体の使い方を知り、安定した声を身につける。特定の声の種類と、その声を使用しているアーティストを把握し、ヴォーカルテクニックの基礎レッスンを通じて学んだ楽曲を発声の観点から分析する。ヴォーカリストとしての基礎力を養うために基礎レッスンを受け、音楽全般に関する基礎知識を身につける。ソロやバンドに合わせてトレーニングを実施し、様々なオーディションやコンテストに備え、進行方法を学び、実践する。									
【科目の概要】 この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の7つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。※楽器レッスン「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。									
【到達目標】 A. 様々なボーカルテクニックを習得できる B. 発声の共鳴について理解できる C. ステージ上でのコミュニケーションを意識できる D. 4声のコーラスワークができる E. 発表会でベストパフォーマンスができる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	様々なボーカルテクニックを習得でき、実際に活用できる			様々なボーカルテクニックを習得できる				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	発声の共鳴について理解でき、簡潔に説明できる			発声の共鳴について理解できる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	ステージ上でのコミュニケーションを意識でき、リーダーシップを発揮できる			ステージ上でのコミュニケーションを意識できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
到達目標 D	4声で歌唱ができ、パートを変えても対応できる			4声で歌唱ができる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる			発表会でベストパフォーマンスできる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン1			年度	2026
英語表記		Advanced lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1 パフォーマンス	ステージでベストパフォーマンスができる	3	
			2 批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3 講師からの講評	自分の課題を発見できる		
2	ボーカルレッスン1①	歌詞を意識した歌唱表現について学ぶ	1 歌詞の熟読	歌詞の内容を理解し、自分なりの見解が持てる	3	
			2 表情と仕草	表情や仕草を使った歌唱表現ができる		
			3 抑揚	抑揚の変化をつけた歌唱表現ができる		
3	ボーカルレッスン1②	ボーカルテクニックを学ぶ①	1 ビブラート/トレモロ	ビブラート、トレモロを使った表現ができる	3	
			2 スタッカート/テヌート	スタッカート、テヌートを使った表現ができる		
			3 エッジボイス	エッジボイスを使った表現ができる		
4	ボーカルレッスン1③	ボーカルテクニックを学ぶ②	1 しゃくり	しゃくりを使った表現ができる	3	
			2 フォール	フォールを使った表現ができる		
			3 こぶし	こぶしを使った表現ができる		
5	ボイストレーニング①	共鳴について学ぶ	1 喉頭腔	喉頭腔を利用した共鳴ができる	3	
			2 咽頭腔	咽頭腔を利用した共鳴ができる		
			3 口腔	口腔を利用した共鳴ができる		
6	ボイストレーニング②	声に関わる病気の種類と対策を学ぶ	1 代表的な病気と症状	ボーカリストがなりやすい病気について理解できる	3	
			2 原因とメカニズム	病気の原因とメカニズムについて理解できる		
			3 日常的なボイスケア	日常的にできるボイスケアについて理解できる		
7	ボイストレーニング③	アーティスト分析	1 邦楽	邦楽アーティストの作品や歌唱を分析できる	3	
			2 洋楽	洋楽アーティストの作品や歌唱を分析できる		
			3 ジャンル研究	様々なジャンルの作品や歌唱を分析できる		
8	ボーカルアンサンブル①	課題曲練習	1 発声練習	発声練習によるウォームアップができる	3	
			2 課題曲理解	課題曲のメイン、コーラスラインを理解できる		
			3 講師指導	歌唱表現、リズムの意識などを理解できる		
9	ボーカルアンサンブル②	アンサンブル発表会のリハーサル	1 リーダーシップ	バンドを引っ張るリーダーシップの意識を持てる	3	
			2 コミュニケーション	ステージ上でのコミュニケーションを理解できる		
			3 コーラス	メインとコーラスのニュアンスを揃えられる		
10	ボーカルアンサンブル③	アンサンブル発表会のパフォーマンス	1 パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる	3	
			2 批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3 講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
11	コーラス1①	実践的なバックコーラスの意識について学ぶ	1 声質のトレース	メインボーカルの声質をトレースできる	3	
			2 ニュアンス	ニュアンスを揃えることができる		
			3 ステップ等	バックコーラスとしてのパフォーマンスができる		
12	コーラス1②	アカベラグループの歌唱について学ぶ	1 チーム編成	アカベラグループの各パートを理解できる	3	
			2 ボイスパーカッション	ボイスパーカッションができる		
			3 ベース	ベースパートができる		
13	コーラス1③	アンサンブルでのコーラスパフォーマンス	1 パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる	3	
			2 批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3 講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1 パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる	3	
			2 歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3 オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1 リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる	3	
			2 本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3 講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等